

ベトナム中部での中等日本語教師支援を経験して

国際交流基金ベトナム日本文化交流センター（ダナン）

生駒 美帆

私は 2022 年 9 月から、ベトナム日本文化交流センター（以下、JFVN）のダナン執務室に派遣されています。ダナンは、ベトナムの首都ハノイから約 800 km離れたところにあるリゾート地です。ダナン執務室には日本人が一人だけという状況ではありますが、ハノイやホーチミンの（上級）日本語専門家（以下、専門家）、日本語指導助手（以下、指導助手）や専任講師等スタッフからのサポートを受けつつ、業務にあたっています。

私の主な業務は、ベトナム中部における中等日本語教育のサポートです。本レポートでは 2023 年度に行った研修と勉強会についてご紹介したいと思います。

教師のニーズに応える勉強会

私が担当する地域は、ベトナム中部のダナンとフエ（ダナンから約 100km 離れたところにある、古都として有名な町）です。普段はこの 2 地域の中等教育機関を巡回し、授業見学やベトナム人日本語教師へのヒアリングを行います。このヒアリングで得た情報や教師のニーズをもとに、勉強会を行うことがあります。勉強会は後述する研修より小規模で、基本的には地域別に行います。2024 年 3 月には、事前に行った教師へのヒアリングで要望が多かった「日本文化の教え方」についての勉強会を、フエの教師を対象に行いました。

この勉強会にはハノイから専門家が来てくれ、私はサポートする形で進めました。初めは「なぜ日本文化を授業で扱うのか？」という問いに対して、「生徒が楽しめるから」や「教科書に出てくるから」などと答える参加者が多かったですが、中高生にとって今後必要になってくる「コミュニケーション」「コラボレーション」といった 21 世紀型スキル（変化の多い時代を生き抜く上で必要な能力）と結び付けたり、特別な知識がなくとも写真一枚でできる文化紹介の方法を紹介したり

したことで、文化紹介の授業はベトナム人教師一人では難しいという考え方が変わり、文化を教えることの重要性も理解してもらえました。

勉強会後に感謝の言葉をもらえるのはもちろん嬉しいですが、参加者が生き生きした表情で、さらに自信をつけた様子で帰っていく姿を見ると、こちらも誇らしい気持ちになります。



グループワークの様子

中等教育日本語教師リーダー研修

順番が前後しますが、JFVN では 2023 年 8 月に、ベトナム全国からベトナム人教師を集め、中等教育日本語教師リーダー研修を行いました。この研修は、ベトナム中等日本語教育において中核となる中堅・ベテラン層の教師を対象に、教師同士のネットワーク形成の場、および実践を共有し合い、課題解決の場とすることを目的として、2泊3日で開催しました。

私は2日目に、ハノイの指導助手、専任講師と協力し、Edcamp のパートを担当しました。Edcamp は、参加者が議題を持ち寄り、意見交換や課題解決をするという活動なのですが、この研修では「実践を共有する」をテーマに、それぞれの実践報告を議題として小グループに分かれて意見交換を行いました。Edcamp で主体となるのは参加者なので、当日の私の役割はルールの説明と司会くらいでしたが、参加者にとって初めてのこの活動にスムーズに取り組んでもらえるよう、また有意義な活動になるよう、参加者のサポートも含めた事前準備は綿密に行いました。その甲斐あり（もちろん参加者の協力もあり）、当日は活発な議論が繰り広げられていました。参加者からも、「いろいろな知識を共有してもらえてよかった」との声をもらいました。



Edcamp 中のあるグループの様子

研修全体を通して、私自身にとっても非常に学びの多い時間となったのですが、最終日に参加者の一人から「とても勉強になりました。こんな研修に参加できて、日本語教師になって本当によかった！」と言ってもらえたときは、嬉しくて涙が出そうになりました。このような事業に関わることができて、最高にやりがいを感じられる瞬間でした。

今後の展望

ダナンには私一人しかいないという状況に、正直はじめは戸惑いました。ですがその分、様々な業務に関わることができます。主な業務は上述の通り中等教育支援ですが、高等教育機関との関係構築等も行います。このようにベトナム中部の日本語教育の多くに関われるというのは、非常に光

栄なことだと思っています。

ハノイやホーチミンの専門家や指導助手に支えられ、少し独り立ちできるようになった今、もう少し自分の力を試してみたいと思うようになりました。任期は残り一年を切りましたが、地域の先生方との関係をより一層強固なものにするとともに、いずれは自分が中心となってベトナム中部での勉強会等の企画・運営ができればよいと思っています。今後も地域の先生方に寄り添いながら、ベトナムの日本語教育がさらに発展していくよう、サポートを続けていきます。

以上